

2026年7月2日

各位

会社名	ログリー株式会社
代表者名	代表取締役社長 吉永 浩和 (コード番号：6579 東証グロース)
問合せ先	代表取締役社長 吉永 浩和 (TEL. 03-6277-5617)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2026年6月30日に関東財務局に提出いたしました2026年3月期（以下「当事業年度」といいます）の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。本件につきましては、本来2026年6月30日に適時開示を行うべきところ、当社の開示手続上の不備により本日開示することとなりました。株主・投資家をはじめ関係者の皆様にご迷惑、ご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

連結子会社である moto 株式会社から2026年3月に配当金110百万円を受領し営業外収益に計上しておりましたが、受取配当金の一部を取り消し、当社が保有しております同社株式簿価を減額する必要があることが2026年6月22日に判明いたしました。その結果、事業報告及び連結計算書類並びに計算書類の修正が必要となり、2026年6月24日に開催しました定時株主総会において決算報告をすることを断念せざるを得なくなりました。

また、2026年3月期の監査法人の監査の過程において、有価証券報告書のドラフトに多数の誤りが判明し、注記を含む開示書類の記載誤りについて監査の過程で指摘を受けました。

このような誤りを当社の投資有価証券評価プロセスを含む決算・財務報告プロセスにおいて発見できなかったことや、決算作業や監査スケジュールに遅延が生じたこと、またその結果、定時株主総会での決算報告ができず継続会を開催することとなった点について、財務報告に与える影響が大きく重要性が高いと判断し、開示すべき重要な不備として認識いたしました。

上記不備の主な要因は以下の通りです。

- ① 経理体制のリソースが不足していること
- ② 豊富な経理経験及び専門性を有する人員が不足していること
- ③ 月次経理業務及び決算業務における業務手順書の整備が不十分であること
- ④ 上位者や他担当者による査閲やモニタリング体制が不十分であること
- ⑤ 会計方針や会計処理の検討が不十分であること

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

上記の開示すべき重要な不備については、当事業年度末以降に判明したため、当該開示すべき重要な不備を当該事業年度末日までに是正することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、開示すべき重要な不備を是正するために、下記の再発防止策を講じて、適切に内部統制を整備・運用を図ってまいります。

- ① 採用も含めた経理体制の強化
- ② 豊富な経理経験及び専門性を有する人員の活用による経理体制の強化
- ③ 月次経理業務及び決算業務における業務手順書やマニュアルの文書化
- ④ 業務実施者以外の担当者や上位者による査閲やモニタリングの徹底

- ⑤ 会計方針や会計処理の早期検討及び監査法人との事前協議による決算及び監査スケジュールの早期化

4. 連結財務諸表に与える影響

なお、上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、財務諸表及び連結財務諸表において適切に反映しております。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上